

科目名	総合日本語 6－8 A Integrated Japanese 6－8 A		
担当者	数野 恵理 (Kazuno, Eri), 長谷川 孝子(Hasegawa, Takako), 井上 玲子 (Inoue, Reiko), 武田 聡子 (Takeda, Satoko)		
開講学期	春学期	単位数	1 単位

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,聴く・話す活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,内容理解とともにディスカッションやプレゼンテーションのしかたを身につけることを目指す。

授業計画

1. 授業概要, 大学に必要な日本語力とは,
聴く・話す技術①-1 導入と資料理解
2. 聴く・話す技術①-2 発表①
3. 聴く・話す技術②-1 導入と資料理解
4. 聴く・話す技術①-3 フィードバックと修正
5. 聴く・話す技術①-4 発表②
6. 聴く・話す技術②-2 発表
7. 聴く・話す技術③-1 導入と資料理解
8. 聴く・話す技術②-3 フィードバックと修正
9. 聴く・話す技術 即興プレゼンテーション
10. 聴く・話す技術③-2 発表①
最終課題④-1 導入
11. 聴く・話す技術③-3 フィードバックと修正
最終課題④-2 準備
12. 聴く・話す技術③-4 発表②
13. 最終課題④-3 準備
14. 最終課題④-4 最終発表

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

授業への参加度 40%,
課題の提出状況および内容 45%,
最終発表 15%,

テキスト

特に指定しない。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

準備学習・その他(HPなど)

科目名	総合日本語 6－8 B Integrated Japanese 6－8 B		
担当者	武田 聡子 (Takeda, Satoko), 藤田 恵 (Fujita, Megumi), 小林 友美 (Kobayashi, Tomomi), 三浦 綾乃 (Miura, Ayano)		
開講学期	春学期	単位数	1 単位

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,読む・書く活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,読解力を高めるとともに,レポートや論文を書く際に必要な技能を身につけることを目指す。

授業計画

1. 授業概要, 大学で必要な日本語力とは
2. テーマ①-1 導入と共通資料の読解活動
3. テーマ①-2 書く技術①
4. テーマ①-3 分担読解とディスカッション
5. テーマ①-4 書く技術②
6. テーマ①-5 書く技術③とリアクションペーパーのフィードバック
7. テーマ①-6 ピア・エディティング活動とレジюмеのフィードバック
8. テーマ②-1 導入と共通資料の読解活動
9. テーマ①-7 小レポートの自己評価と書き直し
10. テーマ②-2 書く技術①
11. テーマ②-3 分担読解とディスカッション
12. テーマ①-8 小レポートのフィードバック
テーマ②-4 書く技術②
13. テーマ②-5 書く技術③
14. テーマ①-9 小レポートの発表
テーマ②-6 レジюмеとリアクションペーパーのフィードバック

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

授業への参加度 40%,
課題の提出状況および内容 35%,
小レポート 25%

テキスト

近藤 安月子・丸山 千歌(2005)『上級日本語教科書 文化へのまなざし[テキスト]』東京大学出版会

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

準備学習・その他(HPなど)

科目名	総合日本語6－8C Integrated Japanese 6－8C		
担当者	数野 恵理 (Kazuno, Eri), 武田 聡子 (Takeda, Satoko), 井上 玲子 (Inoue, Reiko), 長谷川 孝子 (Hasegawa, Takako)		
開講学期	秋学期	単位数	1単位

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,聴く・話す活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,内容理解とともにディスカッションやプレゼンテーションのしかたを身につけることを目指す。

授業計画

1. 授業概要, 大学で必要な日本語力とは,
聴く・話す技術①-1 導入と資料理解
2. 聴く・話す技術①-2 発表①
3. 聴く・話す技術②-1 導入と資料理解
4. 聴く・話す技術①-3 フィードバックと修正
5. 聴く・話す技術①-4 発表②
6. 聴く・話す技術②-2 発表
7. 聴く・話す技術③-1 導入と資料理解
8. 聴く・話す技術②-3 フィードバックと修正
9. 聴く・話す技術 即興プレゼンテーション
10. 聴く・話す技術③-2 発表
11. 聴く・話す技術③-3 フィードバックと修正
最終課題④-1 導入
12. 最終課題④-2 準備
13. 最終課題④-3 最終発表
14. 最終課題④-4 最終発表

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

授業への参加度 40%,
課題の提出状況および内容 45%,
最終発表 15%

テキスト

特に指定しない。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

準備学習・その他(HPなど)

科目名	総合日本語 6－8 D Integrated Japanese 6－8D		
担当者	長谷川 孝子 (Hasegawa, Takako), 井上 玲子 (Inoue, Reiko), イム ジェヒ (Yim, Jaehee), 鹿目 葉子(Kanome, Yoko)		
開講学期	秋学期	単位数	1 単位

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,読む・書く活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,読解力を高めるとともに,レポートや論文を書く際に必要な技能を身につけることを目指す。

授業計画

1. 授業概要, 大学に必要な日本語力とは
2. テーマ①-1 導入と共通資料の読解活動
3. テーマ①-2 書く技術①
4. テーマ①-3 分担読解とディスカッション
5. テーマ①-4 書く技術②
6. テーマ①-5 書く技術③とリアクションペーパーのフィードバック
7. テーマ①-6 ピア・エディティング活動とレジユメのフィードバック
8. テーマ②-1 導入と共通資料の読解活動
9. テーマ①-7 小レポートの自己評価と書き直し
10. テーマ②-2 書く技術①
11. テーマ②-3 分担読解とディスカッション
12. テーマ①-8 小レポートのフィードバック
テーマ②-4 書く技術②
13. テーマ②-5 書く技術③
14. テーマ①-9 小レポートの発表
テーマ②-6 レジユメとリアクションペーパーのフィードバック

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

授業への参加度 40%,
課題の提出状況および内容 35%,
小レポート 25%

テキスト

近藤 安月子・丸山 千歌(2005)『上級日本語教科書 文化へのまなざし[テキスト]』東京大学出版会

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

準備学習・その他(HPなど)